

---

## 美術科・総合美術コース3年生が、加茂水族館の教育普及プログラムを開発 5/24(水)より同館 Web サイトにて配信を開始

---

東北芸術工科大学（山形市上桜田／学長 中山ダイスケ）美術科・総合美術コースでは、瀬戸けいた同学科准教授のゼミ所属の3年生が、鶴岡市立加茂水族館と共に配信型の教育普及プログラムの開発に取り組みました。

「Art Kamo（アートカモ）プロジェクト」と名付けられたこの取り組みは、実際に学生たちが加茂水族館を視察、課題を探すとともに、水族館のスタッフの方々からレクチャーもいただきながら、水辺の命の不思議さ、美しさ、大切さや、水族館の面白さをより良く伝える方法を、アートワークショップのプログラムとしてデザインしたものです。

同水族館へのプレゼンテーションを経て選ばれた2つのプログラムの配信が、5月24日（水）より同館 Web サイトでスタートしました。水族館を楽しく学べる図鑑と絵本をダウンロードでき、大人から子どもまで楽しめる内容になっています。

つきましては、多くの市民、県民の方に本取り組みをお知らせしたく、取材・広報のお願いを申し上げます。

### 今回開発した2つの配信型プログラム



#### 自分で作るミニクラゲ学習図鑑「Kamopedia (カモペディア)」

カモペディアはダウンロードして自分で組み立てる、かもしやすい特製のミニクラゲの図鑑。自分で作ると、海の生き物についての学びも深まります。データをダウンロードし、A4サイズ用の紙に印刷するだけ。あとは、半分に折ってノリでつけていくだけで、おうちでクラゲ図鑑が作れます。



#### 自分で作る水族館学習絵本「○○ってなあに？」

ご家庭でプリントアウト&組み立てるだけ。できた絵本は水族館へ行く時に携行しましょう。お子さまの、自然環境や水生生物への関心と学習に役立てることができます。クラゲ、海ごみ、シロザケの3つの絵本が作れます。

Art Kamo 配信ページはこちら：<https://kamo-kurage.jp/school/artkamo/>

# Art Kamo

(c) Kamo Aquarium / TUAD

Illustration (c) Masaki Goto

## 2023

Art Kamo (アートカモ)。水辺の命の不思議さ、美しさ、大切さ。水族館の面白さをより良く伝える技術とは、アートかもしれない。

Art Kamo は、加茂水族館と東北芸術工科大学総合美術コースの学生による、水族館を楽しく学ぶための、ラーニングプログラムです。

今年度も、加茂水族館の監修を受けながら、学生たちがアートの視点から、2つの配信型プログラムをデザインいたしました。



URL・QRコードよりダウンロードしてください。水族館を楽しく学べる絵本と図鑑をお楽しみいただけます。

<https://kamo-kurage.jp/school/artkamo>

  
かもすい  
KAMO AQUARIUM

  
TOHOKU UNIVERSITY  
OF ART & DESIGN



### 自分で作る 水族館学習絵本 「○○ってなあに？」

ご家庭でプリントアウト&組み立てるだけ。できた絵本は水族館へ行く時に携行しましょう。お子さまの、自然環境や水生生物への関心と学習に役立てることができます。クラゲ、海ごみ、シロザケ、3つの絵本が作れます。



### 自分で作る ミニクラゲ学習図鑑 「Kamopedia」

カモペディアはダウンロードして自分で組み立てる、かもしい特製のミニクラゲの図鑑。自分で作ると、海の生き物についての学びも深まります。データをダウンロードし、A4サイズの用紙に印刷するだけ。あとは、半分に折ってノリでつなげていくだけで、おうちでクラゲ図鑑が作れます。

## 芸工大 x 加茂水族館 共同プログラム

### 『鶴岡市立加茂水族館』

山形県内唯一の水族館。クラゲの研究・展示で国内のみならず、世界的な評価を受けています。庄内の海洋生物、水産業や環境問題、地域からの学び、そしてアートや食など、垣根を超えた展示やプログラム。さまざまな視点から、海の魅力と文化を発信し続ける水族館です。

### 『東北芸術工科大学 総合美術コース』

アートの創造性を活用した、ワークショップ、プロジェクト、ラーニングプログラムを学びます。クリエイティブなコミュニケーションスキルを身につけ、アートの力を社会に生かす実践の学び場、それが東北芸術工科大学『総合美術コース』です。